

第 36 回九州実験動物研究会総会
第 38 回日本実験動物技術者協会九州支部研究発表会
合同開催プログラム

日時: 2018 年 11 月 17 日(土)・18 日(日)(若手交流委員会勉強会: 11 月 18 日午後)

会場: 一般社団法人 大分県労働福祉会館 7 階アイリス 〒870-0035 大分県大分市中央町 4 丁目 2 番 5 号

11 月 17 日(土)

受付 12:00~

開会挨拶

□13:00~13:30 大会長挨拶 奥山 みなみ
九州実験動物研究会会長 小野 悦郎
日本実験動物技術者協会九州支部長 野口 和浩

一般演題 (実技協九州支部)

- 13:30~14:20 座長 : 中村 直子 (熊本大学)、若松 真矢 ((株)新日本科学)
1. 福岡大学アニマルセンターにおける実験動物技術講習会の取り組みについて
○古賀崇男¹、永島博²、松山充²、川口雅人²、田島柳一²、吉村健吾²、金倉辰行²、松岡晴代²、坂元愛²、井手祐輔²、西山由紀²、田中聖一¹
1 福岡大学アニマルセンター 2 (株) アニマルケア
 2. 福岡大学アニマルセンターマウス飼育室における消化管内原虫感染とその対策について
○川口雅人²、坂元愛²、松岡晴代²、田島柳一²、松山充²、永島博²、古賀崇男¹、田中聖一¹
1 福岡大学アニマルセンター 2 (株) アニマルケア
 3. 福岡大学アニマルセンターのマウス飼育室における臭気対策について
○坂元愛²、川口雅人²、松岡晴代²、松山充²、永島博²、吉村一幸³、岸成好³、古賀崇男¹、田中聖一¹
1 福岡大学アニマルセンター 2 (株) アニマルケア 3(株)レナテック
 4. 蟻虫卵の保存方法の検討
○藤谷光、久保憲昭、大沢牧子、山本直土、坂本雅志、大沢一貴
長崎大学先導生命科学研究支援センター比較動物医学分野(動物実験施設)
 5. 効率的なラット凍結桑実胚作製
○川辺敏晃、中村浩敏、柳美穂、井上聖也 アーク・リソース株式会社

評議員会 14:20~15:00

休憩 15:00~15:10

賛助会員トピックス

□15:10～16:10 座長:牧 宏信(大分大学)

1. 演題:次世代衛星:環境管理 ハイポックウォーター生成システム HI-CLEAN II
演者:種田浩次(日本クレア株式会社)
2. 演題:器材展示品のご紹介
演者:須田実樹男(東洋リントフリー株式会社)
3. 演題:器材展示品のご紹介
演者:中村浩敏(アークリソース株式会社)

九実研総会 16:10～17:00

九実研及び実技協九州支部 合同特別講演1

□ 17:00～18:00 座長:奥山 みなみ(大分大学)

- 演題:家畜動物の繁殖学に関する最近の知見
演者:片桐 成二(北海道大学大学院獣医学研究院 教授)

懇親会 19:00～21:00

一般社団法人 大分県労働福祉会館 7階カトレア

11月18日(日)

受付 8:30～

一般演題 (九実研)

□ 9:00～9:40 座長:鳥越 大輔(熊本大学)

1. オーエスキー病ウイルス潜伏感染マウスモデルにおける Crispr-Cas9 を用いた潜伏ウイルス再活性化抑制の試み
○田中聖一 福岡大学アニマルセンター
2. 稀少固有種アマミトゲネズミの実験動物化に向けた飼育ストレス評価の試み
○緒方穂波^{1,2}、前山賢太³、林扶充子^{1,2}、仮屋博敬⁴、川辺敏晃⁴、名倉悟郎¹、城ヶ原貴通¹、篠原明男^{1,2}、越本知大^{1,2}
1 宮崎大学フロンティア科学実験総合センター、2 同 大学院医学獣医学総合研究科、
3 同 農学部、4 アーク・リソース株式会社
3. デグーに観察されるてんかん様発作の誘発要因に関する検討
○伊海結貴^{1,2}、篠原明男^{1,2}、田代朋子¹、末石優子¹、名倉悟郎¹、坂本信介³、越本知大^{1,2}
1 宮崎大学フロンティア科学実験総合センター、2 同 大学院医学獣医学総合研究科
3 同 農学部畜産草地科学科
4. CRISPR/Cas9-mediated gene targeting による ES 細胞を用いた遺伝子改変マウスの作製
○市瀬広武、市瀬多恵子
琉球大学医学部附属動物実験施設

実技協九州支部臨時総会 9:40～10:20

九実研及び実技協九州支部 合同特別講演2

□ 10:20～11:20 座長:越本 知大(宮崎大学)

演題:日本の外来種対策と大分市のアライグマ防除の実際

演者:島田 健一郎(大分市環境部環境対策課)

閉会 11:20～

第8回若手勉強会

□ 13:00～17:00

企画1:九実研若手会員による研究発表

演題名:Zscan10 は/Haptoglobin/の転写を介して破骨細胞分化を負に制御する

演者:柳原 裕太

(愛媛大学 学術支援センター 動物実験部門、愛媛大学大学院 医学系研究科 病態生理学講座)

演題名:成マウスの休眠発現は幼若期の兄妹関係を反映する

演者:名倉 悟郎(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター)

企画2:産学(学学)連携を推進するための若手会員によるショートプレゼンテーション(演者未定)